

相生学院 4年ぶりV テニス男子



テニス男子団体が優勝し、優勝旗を受け取る相生学院の選手たち(松江市宮庭球場で)

全国高校総体(インターハイ)読売新聞社共催)は4日、山口県でバレーボール女子が新たに始まり、中国5県の各会場で、卓球やテニス、バスケットボール、ハンドボールなどの競技が行われた。

県勢は、テニス男子団体の相生学院が準決勝で柳川(福岡)に、決勝では名古屋(愛知)に快勝して4年ぶりの2度目の頂点に立った。卓球女子シングルスは、芦屋学園の馬場麻裕選手が準々決勝進出を決めた。

「全員で勝ち取った」テニス男子団体の、2012年以来の優勝を果たした相生学院。荒井貴人監督は「全員で勝ち取った優勝」と目を細めた。

決勝では、ここまで全試合に出場していた大黒柱の

大島立暉選手(3年)の疲労を考慮。今回は代わりに阿多竜也選手(1年)が第1シングルスを戦った。阿多選手が相手のエースと互角に渡り合う間、同時進行



していた他のシングルス、ダブルスでの勝利で、優勝が決まった。

荒井監督は「(阿多選手が)すぐに負けていたらどうなるか分からなかった。よく頑張ってくれた」とたたえた。阿多選手は「優勝できてうれしい。この経験を今後になかしていききたい」と笑顔で話した。

▽男子団体準決勝
相生学院 2(単2 0 0) 0 柳川(福岡)
▽男子団体決勝
相生学院 2(単1 0 0) 0 名古屋(愛知)

大野子(6-6 2-3) 大川窪島
阿多 多打切酒 井
菊地(6-6 2-1) 高羽
相生学院は4年ぶり2度目の優勝

▽男子団体1回戦
富士宮北 2-1 神戸星城(静岡)
▽男子団体総合予選 ⑩市尼崎 2-4

播磨 姫路

豊岡 三田 姫路 神戸 阪神

湯村 温泉へ

湯村温泉株式会社